

令和6年度 第3回 静岡県立伊豆の国特別支援学校 学校運営協議会

- 1 期 日 令和6年9月4日（水）
 2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校 2F 会議室
 3 日 程

時間	内容	詳細
9:30～	開会	
9:40～	みんなで話そう	・「地域と共に歩む学校～学校が企業や地域とコミュニティとともに『地域の活性化』について～」 ・学校・企業・地域が『地域の活性化』のためにできること。自然災害と地域コミュニティ
11:20～	連絡・閉会	

- 4 参加者
 学校運営協議会委員

氏 名	所 属 等
佐藤 政範	四日町区長 ①
山本 能久	寺家区長 ②
大塚 広典	東レ株式会社三島工場 労務課 課長 ③
花村 康太	株式会社トーホー 代表取締役社長 ①
大西 邦明	旭化成ファーマ株式会社 総務企画部 部長 ②
村上 昇男	伊豆市観光協会 事務局長 ③
川島 庸	伊豆の国特別支援学校 P T A会長 ①

学校教職員

職 名	氏 名	所 属 等
校 長	松本 仁美	①
副校長	勝又 将也	②
教 頭	井上 みづほ	③
事務長	鈴木 健夫	②
部主事	渡邊 康子	小学部 ③
部主事	神田 光紀	中学部 欠席
部主事	岩谷 俊宏	高等部 ①
教 諭	廣 和子	教務課長 小学部 ②
教 諭	末益 美佐	進路指導主事 高等部 ③

- 5 次回の学校運営協議会の予定
 日 時 令和7年2月19日（水）午前9時30分から11時30分まで
 ・令和6年度 学校経営の評価
 ・令和7年度 学校経営計画（案）の説明
 ・コンプライアンス委員会

1 日時 令和6年9月4日(水) 午前9時30分から11時30分まで

2 内容

(1) 開会

校長挨拶

- ・昨日、1日遅れて始業式。
- ・南海トラフ地震臨時情報に対する校内の対応について報告
- ・台風10号大雨浸水に対する災害対策会議について報告

伊豆の国市の避難所になった。今回は市の担当者も来て準備したが、結局、車の避難もなし。本当に冠水したら学校を開けるのかという心配もある。有事の際に学校は何ができるか、PTAとして何ができるか、地域の人は何ができるか。

- ・「みんなで話そう」について、話題提供(静岡新聞の記事より) 地域、事業所、企業からも問題提議してほしい。

PTA会長より

- ・地域コミュニティがどうつながっていくか、災害対策等、自社でされている取り組みやアイデアなどを共有したい。

(2) みんなで話そう

- ・「地域とともに歩む学校～学校が企業や地域とコミュニティとともに『地域の活性化』について～」
- ・学校・企業・地域が『地域の活性化』のためにできること。自然災害と地域コミュニティ

各グループの話し合いについて情報共有

(①グループ)

地域コミュニティ、来賓に話を

防災対策会議は？ → 学校・情報集める人
→ 意に力？ 指示は？ 組織作りは大切

東に組織がある。そこを決定する。
中、ない所が、
会社内、消防団、消防の指示
この段階で、
→ 判断の材料に
サイン、スームがある
→ 直接指示したとて、
意識の差

地域、特にマニュアルはない
トップダウン
9/1訓練：市はX、地域は○ → X
組織に集合(20人)
組織表はあるが、統合的な訓練はX
自治会に入っていない人の情報提供
迅速に、準備が不十分
災害、防災に対する考え方
情報発信 → コミュニケーションをいかに
いかに、進んでいくか

組織をまきこんで訓練の実施の必要性
市が音頭を 個人ではなく地域で
組織になる動きに促せる。
別のコミュニティは？
地域のコミュニティが成立しない
→ 学校に、なってしまう
いかに、進んでいくか

マニュアル
トップダウン
9/1訓練：市はX、地域は○ → X
組織に集合(20人)
組織表はあるが、統合的な訓練はX
自治会に入っていない人の情報提供
迅速に、準備が不十分
災害、防災に対する考え方
情報発信 → コミュニケーションをいかに
いかに、進んでいくか

(②グループ)

「防災をきっかけにした地域との活性化」

(寺家区) 8/30 訓練見学の予定だった。

組長さんの中でも見学に来る予定のいた。
(問い合わせあり)

寺家区 9/25 訓練実施済

東部公民館
伊豆中央高校避難

東特... 国道から東側とな、いるが... どちら? 福祉避難所

避難する可能性あるのは寺家、四日町、中條

市から区長にLINE、メールのせる旨事前に伝達

駐車場開放

(四日町は浸水可能性①
エース周辺も古川以南も。
学校周辺は大丈夫か。)

(旭化成) 社内で緊急時の内規ある。

マニュアルはあるが、理解度の差、厳しすぎる現状

防災本部長、副部長(ヘッド渡辺氏)は

絶対社内待機。連絡係(エコーカード)

マネジメントする人(指示系統)を明確にしていて

①にならないようにしている。会社は警察、消防、施設関係、借出協定

有事の際
すぐに確認
できるように
している
組織のつながり
よく保たれる

臨機応変な対応も必要だが、マニュアルに基づいて行動
組織のひきつぎ... ロードカードをひきつぎ等

コミュニティ

誰がトップに立ても指示を出せるように

避難所を利用して運営していく上でどう組織化するか。

みんなが
自分事と考える

誰かがやってくれるのを待つのではなく、人に任せて待つ、何もできない。

地震は発災後24h以内でどう動くか、大車

何も無い時に動いてイメージを共有しておく

(1) 避難先か
にもよる

行動指針を作っていく必要性(学校、地域、行政)

今、挙がっている課題を整理してつづいていかなければ...

発災からの見直しではなく、地域の課題、学校の課題、行政の課題

情報網が発達した現在、トップが見なくても情報共有できる、指示できる

(チームでつながって共有できるように改善、めた)

学校のマニュアルだけでなく、地域も含めたマニュアルに。チャンス!

地域との活性化に

避難所に指定されたこと「見学意欲」?

「つながる」

地域との活性化

お互いwin-winに

なれると盛り上がる

(③グループ)

企業での対策

南海トラフ マニュアルの確認を行う

(東レ)

24時間体制なので...

安全に帰る。機械を止める。

富士山の噴火も危機感

セコムの安全確認ができるようにしている

家族も対象

(全社員: 三島以外の工場も)

個人でも対応

無事、出勤できるなど事前に

アゲトを作成している

年に何回か訓練を行っている

500人まで 00円。それ以上は一人0円等

能登の地震では

旅館も被災し、避難所としては機能せず。

→ 小学校、役所など、グラウンドに仮設。

(観光課)

マニュアルとネットなどの備品確認。

南海トラフ

土肥の防災(避難)対策 1回単位で。

各旅館の空室状況の確認をして

いざという時の受け入れを可能にしている

台風

お客様のキャンセル対応など...

災害時の基本。帰る方に早く帰るようにしている

旅館

← 宅間と自営するところ。

非常食は

西伊豆町は避難所と設定可。

提議の。旅館も有料避難所としている

(今回は利用者がなし)

利用者は分らない。

→ 利用を妨げる人

で対応可能か?

市などの対応?

次回の予定について確認